

令和3年7月

各 位

四国紙パルプ研究協議会
(公社)愛媛県紙パルプ工業会

四国紙パルプ研究協議会
「令和3年度第1回講演会」開催のご案内

令和3年度第1回講演会を下記のとおり開催いたします。
新型コロナウイルス感染症の影響により、Web開催にて実施することといたしました。
ご多忙中とは存じますが多数ご視聴下さいますよう、ご案内申し上げます。

記

開催日程 令和3年7月20日(火)～令和3年9月20日(月)(期間限定)
(7月20日からホームページ公開予定)
開催場所 四国紙パルプ研究協議会 ホームページ
<http://www.e-kami.or.jp/kamipaken/kamipakentop.html>
公式YouTubeチャンネルでの動画配信
参加費 視聴無料(申込必要)
申込方法 下記申込書をファクス又はe-mailにて、お送りください。

<参加申込書>

事業所名			
所在地			
TEL 番号		FAX 番号	
部署・役職		参加者氏名	

[参加申込先・お問い合わせ先] 四国紙パルプ研究協議会事務局
〒799-0101 愛媛県四国中央市川之江町 4084-1
TEL 0896-58-2055
FAX 0896-58-6240
E-mail info@e-kami.or.jp

四国紙パルプ研究協議会 (Web 開催) 「令和3年度第1回講演会」講演発表プログラム

開催日程 2021年7月20日(火)～9月20日(月)

発表時間 各30分 [YouTubeチャンネルでの動画配信](#)

視聴方法 各タイトルをクリックしてください。

【会長挨拶】四国紙パルプ研究協議会 橋 燦郎

【演題要旨】

講演1 「リチウムイオン電池用セルロース系セパレータのご紹介」

ニッポン高度紙工業(株) 技術開発部 開発課 課長代理 和田 典弘 氏

リチウムイオン電池は、近年、電気自動車やハイブリッド自動車の電源として使用されており、CO₂削減などの環境規制の高まりから今後も市場拡大は続くと予想されている。従来、リチウムイオン電池用セパレータとして、ポリエチレンやポリプロピレンからなるポリオレフィン微多孔膜が使用されているが、当社のセルロース系セパレータは耐熱性に優れ、高空隙率や高保液率により、電池の性能向上が期待できる。本講演では当社セパレータの特長等について紹介する。

講演2 「セルロースナノファイバー (CNF) の特性評価」

高知県立紙産業技術センター 素材開発課 課長 鈴木 慎司 氏

セルロースナノファイバー (CNF) は植物から得られるセルロース繊維をナノオーダーまで高度に微細化したバイオマス素材であり、軽量、高弾性、低線熱膨張性、光学透明性、酸素バリア性などの特性を持つ注目素材である。当センターにおいても、平成27年度にCNF製造装置を導入し、紙や不織布と複合させた新素材・新製品の開発を行っている。

しかし、CNFの評価方法は確立されておらず、CNFを用いた製品開発を難しくしている。ディスク遠心式粒子径分布測定装置を用いてCNFを評価したところ、CNFの繊維径と測定される粒子径が良い相関を示した。この結果を中心に当センターで試作したCNF製造条件と得られたCNFの特性について報告する。

講演3 「プラスチック代替となる生分解性シートの開発」

愛媛県産業技術研究所紙産業技術センター 研究員 高橋 勇貴 氏

プラスチックは、不適切な処理により環境中に流出した際の生態系への影響が懸念され、現在、食品容器等の海洋漂着プラスチックごみが大きな社会問題となっており、プラスチック代替となる生分解性素材の開発が強く望まれている。これまで、生分解性素材の一つとして、木材パルプと生分解性繊維を用いた混抄紙の試作や評価が行われてきたが、成形性等については十分に検討されていなかった。

そこで、本研究では、食品容器等向けに熱圧成形加工が可能な生分解性シートを開発することを目的に、抄紙法による木材パルプとポリ乳酸繊維の配合シートの試作や熱圧成形による成形性等について検討したので紹介する。

※講演の内容に関する質問等については、事務局までお問い合わせください。